

【第2次札幌新まちづくり計画 平成21年度進行管理評価結果】
『政策目標4 安全・安心で、人と環境にやさしい街』

重点課題 1 水とみどりの保全・育成と創出

＜施策の基本方針＞
みどり豊かな美しい風格ある街並みの実現や清らかな水環境の維持・回復を図るため、市民や企業との協働により、みどりの保全と創出を進めます。また、人間の活動による環境負荷の減少に努め、水辺の保全やせせらぎを回復する取り組みを推進します。

● 事業費の進捗率

90.2%

算出式：(H19決算額＋H20決算額＋H21決算額＋H22予算額) 11,953,779千円 ／ (計画事業費) 13,250,200千円

● 施策別の主な取組内容

19～21年度(実績)

【施策1】みどりの保全・育成

・特別緑地保全地区取得 約3.2ha、都市環境林取得 約11.4ha

【施策2】みどりの創出

・道路緑化推進事業(街路樹補植4,221本、危険木対策680本など)

・一家庭一植樹運動推進事業 約31千本植樹

・さっぽろふるさとの森づくり植樹祭 18千本植樹

・コミュニティガーデン設置21カ所

【施策3】水辺の保全・創出

・協働による水生生物観察会や市民活動事例発表会の実施

・有識者による検討会(9回)や、シンポジウム等を開催し、札幌市河川環境指針を策定

・多自然川づくりによる散策路整備や意見交換会等の実施

【施策4】水とみどりを楽しむ心の醸成

・市民・企業等の協働による公園緑地の利活用(イベント実施等)

・森林・公園ボランティア活動の拡充・促進

・国際園芸博覧会(花博)開催の検討について、基礎調査及び市民アンケート調査を実施し、開催を断念する旨の判断をした。

22年度(予定)

【施策1】みどりの保全・育成

・特別緑地保全地区取得 約0.8ha、都市環境林取得 約4.1ha

【施策2】みどりの創出

・道路緑化推進事業(街路樹補植1,300本、危険木対策144本など)

・一家庭一植樹運動推進事業 約10千本植樹

・さっぽろふるさとの森づくり植樹祭 4千本植樹

・コミュニティガーデン設置数 10カ所

【施策3】水辺の保全・創出

・協働による水生生物観察会や市民活動事例発表会の実施

・多自然川づくりによる散策路整備の実施

【施策4】水とみどりを楽しむ心の醸成

・市民・企業等の協働による公園緑地の利活用(イベント実施等)

・森林・公園ボランティア活動の拡充・促進

● 市民・企業等との協働の状況

■ 市民との連携、市民参加

・さっぽろふるさとの森づくり事業：市民に親しみ深い森づくりを進めるため、地域住民や企業、小学校児童らと協働による植樹活動を実施。

・北緯43° 花香る北の街づくり事業：公共未利用地における地域主体の花壇づくり、市民による種からの花苗育苗、市民と協働による植樹樹を用いた花壇づくり

・みんなが集い学び楽しむ公園緑地づくり事業：市民や団体の協力によるボランティア活動の促進のほか、市民をはじめとした幅広い主体との連携によるイベントの実施など、市民参加・連携を進めている。

■ 企業等との連携・協働

・さっぽろふるさとの森づくり事業：企業等からの苗木提供による植樹活動のほか、企業・団体連携協定締結による協働の森づくりの実施。

・北緯43° 花香る北の街づくり事業：地域や児童との協働による花苗の育成のほか、企業とも協働して宿根草の植栽やフラワーコンテナの維持管理などを実施。

■ 市民・企業等が参加しやすい環境づくり

・さっぽろふるさとの森づくり事業：市民や企業がいつでも植樹活動に参加できるよう、市民メモリアル植樹園を設置し、広く参加を呼びかけた。

・北緯43° 花香る北の街づくり事業：地域主体の花壇づくりが取り組めるよう、市内各地の公共未利用地等にコミュニティガーデンを設置。

・創成川通親水緑地空間整備事業：デザインの検討過程で、地元の方々との意見交換や、シンポジウム開催のほか、パネル展を開催し、市民との情報共有を図った。

● 評価(成果)と課題

【施策1】みどりの保全・育成

・重要な樹林地を公有化することで、街から見える山並みや市街地に点在する緑地の保全に努め、将来にわたり良好な都市環境、景観の維持を図った。

⇒行政主体の事業手法・制度のみならず、NPO、市民ボランティア、企業などの多様な主体の活動にも重点を置き、その活動の支援や協働などについて検討を行い、地域に親しまれているみどりを適切に保全・育成する必要がある。

【施策2】みどりの創出

・公園緑地の整備をはじめ、市街地の街路樹整備、公共施設緑化を進めた。また、市民と協働による花を活用した街の美化によって、景観の向上に寄与しただけでなく、コミュニティの醸成や、地域の個性をいかした街づくりを進めた。このほか市民や企業との協働による森づくりを行うことでみどりの創出に加え、市民の緑化・環境意識の高揚を図った。

⇒地域で緑化活動や森づくり、公園緑地整備などの取組により多くの市民や企業が参加できるよう取組内容の検討や支援を進める必要がある。

【施策3】水辺の保全・創出

・水辺とのふれあいの取組として、水生生物観察会を実施したほか、多自然川づくりを推進するとともに、よりよい河川環境を保全・創出するため、札幌市河川環境指針を策定した。

⇒水環境保全に関する活動団体同士の連携を深めるほか、多自然川づくりによる河川整備に市民意見を取り入れることにより、水環境への市民の関心を高めていくことが必要である。

【施策4】水とみどりを楽しむ心の醸成

・市民との連携等によるイベントを実施することで、市民が主体となった公園緑地の利活用促進を図るとともに、ボランティア制度の見直しによって、より多くの市民参加を可能とした。また、花博開催に係る基礎調査・研究報告書が作成され、市民アンケート調査から開催を断念する旨の判断を行った。

⇒市民・企業と連携・協働による取組を進めるためには、市民・企業のニーズを把握するとともに、活動のしくみや支援方法の充実を図る必要がある。

● 今後の重点取組

今後も市民・企業との連携・協働による公園緑地の整備、地域緑化の推進や森づくりのほか、公園緑地の利活用の促進に取り組んでいくものであるが、より多くの参加を得ながら進めていくために、取組内容や市民・企業への支援等の充実を図っていく。

● 主な達成目標の状況

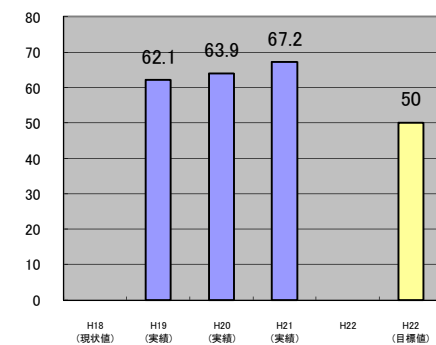
達成目標名	目標値(目標年度)	H18(現状)	H21(実績)
一家庭一植樹運動推進事業による植樹本数(累計)	59,300本(H22)	19,294本	51,248本
これまでの市民植樹祭での植樹本数(累計)	100,350本(H22)	56,350本	109,724本
コミュニティガーデン設置数(累計)	30カ所(H22)	—	21カ所
〔国際園芸博覧会〕開催誘致の是非決定	決定(H20)	—	決定
フラワーロードの延長、プランター(栽培容器)設置数	2,650m 230基(H22)	2,200m 130基	3,300m 230基
〔アマとホップのフラワーロード推進事業〕参加団体数	15団体(H22)	12団体	23団体
白旗山の緑化	57,000㎡(H22)	—	57,000㎡
都市環境林面積(累計)	1,678ha(H22)	1,665ha	1,692ha
花を活用した管理を行う道路残地箇所数(累計)	10カ所(H22)	—	3カ所
都心部における水とみどりの空間	1.9ha(H22)	—	工事中
〔丘珠空港〕緑地整備の推進(告示供用面積)	10ha(H22)	4.1ha	4.1ha
〔東雁来第2土地区画整理地区内〕土地活用率(宅地建設など土地の利用が図られた割合)	30%(H22)	19%	28%
〔東雁来第2土地区画整理地区内〕公園・緑地面積	10ha(H22)	1.4ha	6.3ha
地域独自の水環境目標設定数(累計)	3件(H22)	—	—
〔合流下水道改善における〕吐口対策実施済数(累計)	22カ所(H22)	6カ所	21カ所
豊平川貯留管の整備進捗率	35%(H22)	—	1%
雨水流出抑制に関する要綱等の策定	要綱等策定(H22)	—	制度内容の検討
多自然川づくり整備延長	5.5km(H22)	4.7km	5.4km
公園緑地ボランティア登録団体数(累計)	50団体(H22)	31団体	56団体
〔公園緑地〕利活用促進のためのイベント等実施数	100回(H22)	—	82回
〔校庭への〕植樹実施校数(累計)	30校(H22)	—	28校

● 主な施設・サービスの整備水準

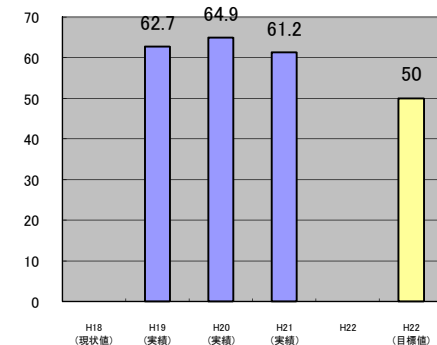
該当なし

● 成果指標等の動向

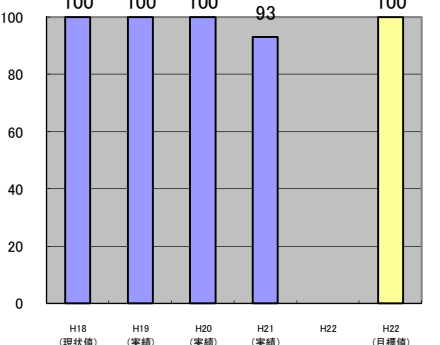
身近なみどりの満足度(単位：％)



地域の緑化活動への参加意識(単位：％)



河川の水環境目標値(環境基準)の達成率(単位：％)



みどりに関わるボランティア登録団体数(単位：件)

